

教養教育院大地震対応マニュアル

『教養教育院では、年間を通して防災訓練を実施します』

近い将来、東海地方に大地震が発生した場合には、全学教育棟で授業を受けている2千人余りの学生が安全かつ迅速に屋外に避難することが必要となります。

教養教育院では、地震をはじめ、不意に発生する災害等に備え、非常時に学生や教職員が冷静かつ適切な判断や指示ができ、避難時の対応が安全かつ速やかにできることを目的に、年間を通して全学教育棟における防災訓練、避難・誘導訓練等を計画・実施しています。

この教養教育院における取り組みについてご理解いただき、訓練の実施にご協力願います。

教養教育院長

名古屋大学安否確認システム(ANPIC)

機構のメールアドレスが、緊急用メールアドレスとして登録されます。いつでもどこでも受け取れるようにスマートフォン等の設定を行ってください。

https://www.saigai.nagoya-u.ac.jp/?page_id=1016

災害時には安否情報を大学へ伝えてください！

登録のメールアドレスに名古屋大学安否確認システム(ANPIC)からメール(送信アドレス: no-reply@jecc.jp)が届きますので、案内に従って安否情報を入力してください。

教養教育院大地震対応マニュアル(全学教育棟)

《名古屋大学緊急地震速報システム》

東山キャンパスで震度5弱以上が予想されるときに、地震による強い揺れが起こる数十～数秒前に警報が発せられます。

緊急地震速報

放送メッセージが流れます。

NHKチャイム音につづき、「身の安全を確保してください。」

緊急地震速報を聞いたら

強い揺れが起きるまでの時間は限られています。倒壊や破損しやすいものから離れるなど、身の安全を図るための最低限の行動を取ってください。

火を消す

安全姿勢

出入り口の確保



災害対策室作成
『大震災！行動マニュアル』より

【講義室】

机・イスが床に固定されている場合

イスに座ったまま机につかまる

固定されていない場合

バック等も使い、とにかく頭を守る

【階段】

踊り場へ出て安全姿勢

地震発生せず

速報の後、しばらくしても地震が来ない場合は誤報の可能性もあるが、テレビ・ラジオ・インターネットなどで情報を集め、正式な発表があるまで警戒を解かないでください。

地震発生

『地震発生時初動マニュアル』

(次ページへ)

地震発生時 初動マニュアル(全学教育棟)

地震発生

- ① **まず、身を守る！**
バッグ、教科書などで落下物から頭を守り、揺れが収まるのを静かに待ってください。
- ② **非常脱出口の確保！**
余裕があれば、ドア付近にいる人は、出入り口の扉を開け通路を確保してください。
- ③ **素早く火の始末！**
実験中など火気を使っているときは、火を消す。薬品などから離れてください。

地震発生後 1～2分 (揺れが収まったら)

- ① **周囲の安全を確認！**
倒れた棚等の下敷きになっている人がいないかを確認してください。けが人の有無を確認してください。
- ② **建物の状況を確認！**
建物が傾いていないか、壁にヒビが入ったり崩れたりしていないかなどを確認してください。
- ③ **作動中の実験器具等の停止！**
- ④ **火災の状況を確認！**
火災が起きた場合、自分の身が安全な範囲で、落ち着いて**初期消火**してください。

地震発生後 3分

- ① **隣接する部屋で助け合う！**
他の部屋・教室等で倒れた棚等の下敷きになっている人がいないか確認してください。
- ② **余震に注意！**
建物の状況により、余震で崩壊する恐れのある場合は、大学指定の避難場所中央図書館西側グラウンド(東海プラットフォーム建設工事期間中はその周辺道路を含む)に避難してください。

避難が必要な場合

建物の状況により、避難が必要と判断された場合は**館内放送等により避難指示**が出されますが、館内放送等が無くても状況により担当教員が避難することが必要と判断することもあります。

避 難

担当教員の指示に従い避難してください。
日頃、**教室から非常口までのルートを確認**しておいてください。

- ① 落ち着いて避難してください。
- ② **障がい者の優先避難を支援**してください。
※ 車椅子を利用している障がい者の避難の方法など、日頃から周りの人が意識していることが大切です。
- ③ 大きな荷物は所持しないで避難してください。
- ④ **エレベーターの利用は禁止**となります。
- ⑤ 避難の途中で**立ち止まらない**ようにしてください。
- ⑥ 『おはしも』を実践してください。
おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない



確 認 (教員が対応)

- ① 全員の教室退避を確認
- ② 隣接する教室の避難状況を確認
- ③ トイレの中を確認

一次避難場所へ誘導(教員が対応)

一 時 待 機

- ① 屋外に出たら、指定の**一次避難場所**で待機してください。
- ② 安全が確認できるまで教室には戻らないでください。
- ③ 余震により外壁等が落下する恐れがありますので、建物から十分な距離を置いてください。
- ④ 大学からの案内・指示に従ってください。

名古屋大学安否確認システム (ANPIC)

名古屋大学安否確認システム(ANPIC)の概要

大地震発災時における皆さんへの安否確認は、1.発災直後に建物内に取り残された人がいないかを確認するため、2.初動・応急対応がほぼ終了し、復旧対応に入った際の授業や研究活動の再開、入試、就活等、日常に戻すタイミングの判断を行うために非常に重要です。大多数の構成員の安否状況が確認を完了してからでなければ、上記 2 の段階に移行できません。また、無事であっても必ず返信していただく必要があります。

名古屋大学では愛知県内で、「震度5弱」以上の地震が発生した場合、気象庁から配信される地震情報をANPICが取得し、本学学生及び教職員に対し、ANPIC送信アドレス【no-reply@jecc.jp】から安否確認メールが自動配信されます(システムイメージ参照)。安否確認メールを受信したら、メール内にあるURL(https://anpic*jecc.jp/*****、安否確認メールのサンプル参照)へアクセスし、安否状況を報告してください。安否報告は、なるべく早く行うことが求められますが、避難などにより、少なくとも安全を確保した後に行ってください。また、上記以外の災害発生時等においては、発生した災害による影響を鑑み、必要に応じて大学の管理者が、手動でメール配信を行います。

名古屋大学では、令和6年度より、安否確認のための第1緊急連絡先を機構メールアドレスに一本化しました。加えて、2段階認証機能がないメールアドレスへの転送は不可となっています。地震はいつどこで起きるか分からないことから、安否確認メールはスマートフォン等、いつでもどこでも受け取れる体制にしておく必要があります。そこで、皆さんには、以下のいずれか、もしくは複数の方法で安否確認メールを受信できる設定をお願いします。

- 1.スマートフォン等により機構メールアドレスへ送信された安否確認メールを受信
2. ANPICサイトに名大 IDでログインし、携帯やプロバイダ等で登録されたメールアドレスを第2、第3緊急連絡先として登録し、それらのメールアドレスから安否確認メールを受信
3. App Store やGoogle Play よりANPICのアプリをインストールし、アプリより安否確認メールを受信(この場合、アプリから回答可能、「スマートフォン用アプリ等の利用方法について」を参照)
4. ANPICのアプリのインストール後、LINEより安否確認メールを受信(LINEから回答可能)

<システムイメージ>

<安否確認メールのサンプル>

<安否報告画面のサンプル>



アドレス指定受信の設定(ANPICからのメールが届かない場合)

携帯電話等のメールアドレスを登録した場合は、必ずANPICからのメールが受信できるようにANPIC送信アドレス【no-reply@jecc.jp】を指定受信設定してください。

指定受信設定方法については、下記URL(ANPICサイト)の「ANPICからの通知が届かない方へ」ご確認の上、設定をお願いします。<https://www.anpic.jp/mailinfo/>

スマートフォン用アプリ等の利用方法について

スマートフォン用アプリ等の利用によりメール内にあるURLへのアクセスを回避することができます。

名古屋大学ANPIC初期設定サイト(<https://anpic-v-nagoya-u.jecc.jp/nagoya-u/regist/>)で初期設定をした上で、スマートフォンにアプリをダウンロードし設定を行ってください。

初期設定の方法やスマートフォン用アプリの利用については、災害対策室HPにある「名古屋大学安否確認システム(ANPIC)について」(https://www.saigai.nagoya-u.ac.jp/?page_id=1016)をご覧ください。

名古屋大学安否確認情報システム(ANPIC)に関する問合せ

安否確認システムの詳細については災害対策室HPをご覧ください。
また、安否確認メールが届かない場合は、災害対策室にメール等にてお問合せください。

- ・災害対策室 052-788-6040 またはメール dmo@seis.nagoya-u.ac.jp
- ・災害対策室HP <https://www.saigai.nagoya-u.ac.jp/>

